

安積高校との交流

◇期 日：令和5年10月6日（金）、10月12日（木）

◇場 所：本校2年各教室、至誠ホール等

◇参加者：21H・23H生徒79名

福島県立安積高校2年生280名

2年普通科SS探究Ⅱの活動の一環として、修学旅行で富山県を訪れた福島県立安積高校の生徒達との交流を行った。6日に実施したオンラインでの交流を経て、12日午前には本校を訪れた安積高校生160人と本校生79人とがテーマごとに5、6人ほどのグループを作り、お互いに自分達の研究テーマについて相手に説明し、意見を交換した。スポーツについて話をしたり、漫画やアニメについて話をしたりと、多種多様なテーマでそれぞれが活発に意見を出し合った。また、それぞれの学校や県についての質問をして、お互いを理解し交友関係を築こうとする姿が見られた。

とあるグループでは、「富山県ではどうして大麦の生産が多いのか」という質問が出されたが、本校生はそのイメージがなかったのか、答えに戸惑うシーンもあった。しかし、班のメンバーと知恵を絞りあい、納得のいく答えを導き出していて、安積高校生との交友関係だけでなく、同じ本校生との間でも仲を深められていたように思える。他の都道府県からわざわざ訪問してもらい、対面で意見を交わしあうという機会はなかなかないので、とても貴重な体験になった。今回交流に参加できなかったホームからも、自分達も参加したかったという羨望の声が聞かれた。

本校2年普通科のSS探究Ⅱのテーマは「ウェルビーイング」という答えのない難しいものであるが、今回の交流によって、テーマに対する課題の解決策の手がかりを見つけることが出来た人も少なくなかったので、良かったのではないかと思う。

さらに、12日の午後には、普通科探究Ⅱの中で本校ロゲイニングチームが企画した富山市街地を巡るロゲイニングを安積高校生全員に体験してもらった。ロゲイニングとは、地図を見ながら設定された各スポットを巡りミッションをクリアして得点を獲得し、時間内で一番多くの得点を獲得したグループが優勝というルールのものだ。このロゲイニングが好評であり、好天の下で安積高校生が笑みを浮かべながら初めて訪れる富山市の各地を巡っていた。本校生にとっても企画したロゲイニングの成功体験は、今後のSS探究Ⅱの合同発表会に向けての大きな自信となるだろう。

最後に、今回過密なスケジュールの中、本校との交流に時間を割いて協力して下さった安積高校のみなさん、本当にありがとうございました。

